



## 28%で当選、72%が死票！！

### 憲法違反の判決

昨年の中院選について、「一票の格差が違憲」の最高判決が十六も出た。内二つは選挙

無効。「最高裁が違憲状態だと判決を下したのは是正しないのは怪しからん」と云う訳だ。

実際、昨年の衆院選で、有権者最多の千葉四区は四九万。最少の高知三区は二〇万。

二・四二倍の格差だ。千葉の住民の意見は高知の意見の半分以下の効果しか無い。

### 国民は法の下に平等

憲法第十四条に「すべて国民は、法の下に平等」とある。一票の重みの格差が二倍以上もあるのが、これに反することは自明。

二〇一一年の最高裁判決を受けて、一票の重みが限りなく等しく

なるよう選挙制度を改定する必要がある。

元々、小選挙区は第一党しか通らないから、圧倒的に大政党に有利。

昨年の衆院選では長野三区では二八%の得票で当選。七二%が死票になっている。ごく少数の支持しか得ていない議員だけが国の行く末を決めるといえるのはおかしい。

### 比例削減で

少数政党を切る

今、自民や民主は「比例削減」を声高に叫んでいる。「議員も身を切る」と云うが、比例を減らして切られるのは少数政党から。

年に約三百億もの政党助成金こそ、真っ先にリストラすべきではないか。

皆さんはどう思われますか？

## アンデパンダン展

東京六本木 新国立美術館



新国立美術館は東京・六本木に二〇〇七年に開館。日本最大一万四千平米の展示スペースがある。収蔵品はなく、専ら展覧会の開催などが目的。

その新国立美術館でアンデパンダン展が四月一日迄開かれている。「アンデパンダン展」

とは「独立した芸術家の展覧会」の意味。一八八四年にスーラやシニヤック等によってパリで最初に開催。画壇や流派の権威を認めず、自由に活動する芸術家の展覧会である。

日本では一九四七年から日本美術会により始められた。権威を認めないので、出品物の審査は無い。誰でも出品料を払えば展示される。先輩方の作品を見て、筆の運び、色調を学んでいる。人が自分の絵の前に立ち止まると頭を下げたくなる。

来週四月七日はお休みします